

2019年2月吉日

部工会会員会社代表者各位  
品質管理・購買担当役員様

株式会社 自動車部品会館  
(協賛(一社) 日本自動車部品工業会 関東支部)

2019年5月23日(木)～24日(金)  
「IATF16949:2016 内部監査員養成研修/基本2日コースの  
ご案内

拝啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当会館の事業につきまして、ご高配ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。

株式会社自動車部品会館では一般社団法人日本自動車部品工業会様における『IATF16949:2016』構築・認証取得活動への支援として、また『IATF16949:2016』に基づく監査の実施を進める上での必要要件である「内部監査員養成研修/基本2日コース」を上記日程にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

IATF16949:2016 規格では内部監査員の力量として以下の5つの視点で実証することが要求されています。

視点1: ISO19011 内部監査のガイドラインとしての規格に準じた基本力量

視点2: マネジメントシステム監査、製品及び工程管理ができる力量

視点3: 内部監査員としての5つの基本知識 (①IATF16949:2016 及び ISO9001:2015 規格解釈/②顧客固有要求事項/③プロセス監査手法/④コアツール手法/⑤内部監査の基本手順)

視点4: 内部監査実践力量の実証

視点5: 供給者に対する二社監査の実践力量

更に以上の内部監査員の力量確保のため、トレーナー(講師)の力量実証の要求があり、従来のように社内研修会で力量確保することが難しくなっており、社外研修会の必要性が高まっています。この機会に是非受講されることをお願い申し上げます。

研修内容の詳細は、別紙のとおりでございますので、受講をご希望される方は別紙受講申込書でお申込下さいませようご案内申し上げます。

敬 具

## IATF16949：2016 内部監査員養成/基本 2 日コース研修のご案内

### ■講師

あどばる経営研究所／中小企業診断士 Office 所長  
ISO9001&ISO14001 審査員／中小企業診断士  
認定 SOX アドバイザー／上級内部統制管理士

草野 喜義（くさのきよし）氏

### ■日程

開催日時：2019 年 5 月 23 日（木）～24 日（金）  
両日とも、午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分まで

### ■開催場所

自動車部品会館 601 会議室（6 階）  
東京都港区高輪 1-16-15 電話 03-5422-6351

### ■受講料

58,000 円【税込】（昼食代を含む）  
（JAPIA 会員会社は 38,000 円【税込】）  
（JAPIA 会員中小企業優待価格 29,000 円【税込】）

### ◎申込要領

①受講申込書に受講者の会社名、住所、電話、所属、役職名および氏名を明記して、5 月 16 日（木）（必着）までに FAX 又はメール及び弊社ホームページよりお申込ください。折り返し申込受付票をお送りいたします。

万が一、お申込み後に参加を取り消す場合は、必ず下記までご連絡ください。

②受講料の請求書を郵送いたしますので、銀行振込にて 5 月 16 日（木）までにお支払いください（振込手数料は貴社でご負担いただきますようお願いいたします）。

③受講希望者が募集人数（**20 名**）になり次第、締め切らせていただきます。なお、締切り前に募集人数を超えた場合にはお断りのご連絡をいたします。

※申込み後のキャンセルは 5 月 16 日（木）までといたします。以降のキャンセルはお受けいたしかねます。代理の方にご出席いただくか、後日テキストを郵送させていただきます。

※受講希望者が少数の場合は中止となることがありますのでご了承ください。

### ◎申込先および問い合わせ先

(株)自動車部品会館 総務部 飯島  
電話：03-5422-6351      [ijjima@japia.or.jp](mailto:ijjima@japia.or.jp)

## IATF16949：2016 内部監査員養成/基本 2 日コース研修のご案内

### 本コースのネライと特長

1. 本コースは IATF16949：2016(自動車産業品質マネジメントシステム要求事項)及び ISO19011(国際的な監査基準)に基づく監査を実施するための知識・スキル・ノウハウ・勘所を習得するコースです。
2. IATF16949：2016 規格の本質的理解をし、監査にどのように適用させれば良いかを理解していただきます。
3. 内部監査員としての監査の進め方の手順を完全に理解していただきます。
4. 豊富なケーススタディとロールプレイング手法により、実践で通用する内部監査員を養成します。
5. **IATF16949：2016 の内部監査員は、規格要求事項として、内部監査員の力量を実証することが求められています。これらの力量の証明のため、修了証の発行の他、必要な実証の証拠としての資料、記録類についてご説明します。**
6. IATF16949：2016 規格要求事項の理解以外に「プロセスアプローチ監査手法」「コアツール手法」の理解及び「各顧客別固有要求事項」の理解が必要であり、これらの手法の基本説明をした後、内部監査に於ける着眼点について学習します。
7. 自信を持って不適合の指摘が出来るための 2 つのポイント(監査基準の適用方法と監査証拠の重要性の認識)についてシンプルな着眼点とノウハウの伝授により、客観的な監査指摘と実践的なスキルを確実に身につけていただけるよう学習します。

### 受講対象者／こんな方に受講をお奨めいたします !!

#### 受講者の共通留意事項

留意事項 1：ISO9001：2015 規格が基本理解できていることを前提に進めますので、事前学習用に「ISO9001：2015 規格要求事項／解説」テキストを事前配布します  
→ 予習して下さい

留意事項 2：IATF16949：2016 規格は研修当日の開設は重要点を中心に解説しますが、事前学習用に「IATF16949：2016 規格要求事項／解説」テキスト及び理解度テストセルフチェック資料を配布します → 予習して下さい

留意事項 3：特に IATF16949：2016 規格は要求事項が ISO9001 の約 3 倍あり、難解な点が多いので予習は必須事項です

▽IATF16949：2016 内部監査員任命予定の内部監査員候補者

▽これから IATF16949：2016 の構築・認証取得に取り組む組織の方 (管理者、スタッフ)

▽IATF 16949：2016 の要求事項を理解されたい方

▽内部監査員リーダーとしてレベルアップ、スキルアップを考えている現状の内部監査員の方

▽QMS(品質マネジメントシステム)の各部門管理者、現場の監督者等QMSの仕組み構築に責任のある方

### 修了証を発行します

▽内部監査員としての力量を実証する証明にさせていただきます。

▽内部監査員としての資格認定の要件確認の資料として、社内資格認定に使用することが出来ます。

▽受講者が所定のカリキュラムを修了したことの確認として、組織の主管部署、QMS推進者への報告資料として活用させていただきます。

### カリキュラム

#### IATF16949：2016 内部監査員養成研修タイムスケジュール（基本2日コース）

	研修内容		時間	使用テキスト
1 日 目	1 研修オリエンテーション		9:30~9:45	
	2 IATF16949：2016 規格要求項目解説 (ISO9001:2015 共通要求事項を含む)	講義	9:45~12:00	IATF16949：2016 規格要求項目／規格の解釈 IATF16949：2016 規格要求項目（一覧タイプ） ISO9001：2015 規格解説（事前配布）
	昼休憩		12:00~13:00	
	2 IATF16949：2016 規格要求項目解説	講義	13:00~16:00	
	3 内部品質監査の進め方 内部品質監査と PDCA 内部品質監査員の養成	講義	16:30~17:30	内部品質監査の進め方 内部品質監査実施のテクニック（1）（2）
2 日 目	4 コアツールの要点解説	講義	9:30~10:30	コアツールの要点 コアツール監査のポイント
	5 IATF16949：2016 プロセスアプローチ監査	講義	10:30~12:00	プロセス監査 要求事項／プロセスマトリックス表
	昼休憩		12:00~13:00	
	6 タートル分析ケーススタディ	演習	13:00~14:30	タートルモデル分析によるプロセス監査／演習 タートル分析／ワークシート
	7 不適合判定ケーススタディ	演習	14:30~17:15	IATF 規格対応／不適合判定／演習 不適合判定ケーススタディ／ワークシート 不適合判定ケーススタディ／解答例
8 研修まとめ／Q&A		17:15~17:30	IATF16949 理解度テスト／総合 研修会終了後、個別の質問受付、対応致します	

\* ISO9001：2015 及び IATF16949：2016 規格要求事項／解説テキストは事前配布します（事前学習が必要）

\* ISO9001:2015 規格要求事項の基本解説は含まれていますが、事前学習等により基本理解していることが必要です。

\* 本コース終了に伴い、IATF16949：2016 内部監査員研修修了証を発行いたします。

## 講師プロフィール



**草野喜義**（くさのきよし）

あどばる経営研究所／中小企業診断士 Office 所長として、中堅・中小企業の育成支援、ISO 認証取得支援、ISO 内部監査員養成研修、各種研修会・セミナー講師として幅広く活躍している。

ISO 認証取得コンサルティングは、ISO9001,ISO14001,ISO27001,ISO13485,ISO22000,ISO/TS16949,JISQ9100,OHSAS18001,JISQ15001 等約 320 社の取得支援実績があり、これらの全ての規格に対して内部監査員養成研修講座の主催を通じて約 12,000 人の内部監査員を養成している。

現場の実践的改善手法（コストダウン手法、品質改善手法、ジャストインタイム手法、P/M分析手法など）を通じて、実質的なコストダウン、生産性改善により顧客企業の経営課題の解決、改革・改善の成果を出すことは、コンサルティングの基本姿勢としており、

『あどばるポリシー』で顧客企業を応援しています。

あど ばる

\*Additional Value（付加価値）は、あどばる経営研究所の心です…あどばるポリシー

### ■資格

中小企業診断士 ISO9001&ISO14001 審査員 認定 SOX アドバイザー／上級内部統制管理士

### ■経歴

大阪大学溶接工学研究課程修士修了

トステム(株)（現 LIXIL）海外事業室長／技術統括部長／工場長／TBI 事業部長

## IATF16949 : 2016 規格 (旧 ISO/TS16949) について

IATF (International Automotive Task Force) : 国際自動車業界特別委員会は、ISO/TS16949 に替わる自動車産業の新しい品質マネジメントシステム規格、『IATF16949 : 2016』を発行いたしました。(2016年10月)『IATF16949 : 2016』は、近年の自動車産業におけるグローバル競争の加速や複雑なサプライチェーン等を考慮されており、組織が継続的改善を享受できるように策定された新しい品質マネジメントシステムです。

『IATF16949 : 2016』は、自動車業界における“組織の品質マネジメントシステムの要求事項”を定義している ISO/TS16949 に替わる規格になります。

本規格は単独の規格ではなく、QMS 規格の基本である ISO9001 : 2015 の構造や要求事項に沿って策定されています。従って一部の要求事項は ISO9001 : 2015 と共通要求事項として取り扱われるため、既に ISO9001 : 2015 を認証取得されている組織は、『IATF16949 : 2016』へのアップグレードをスムーズに対応できる可能性があります。  
車載品を扱っている組織は ISO9001 規格だけでは顧客は満足されなく IATF16949 規格を要求される傾向にあり、必須の規格になる傾向にあります。

IATF が新たに義務付けた今回の要求事項は、お客様のビジネスにおいて、より良い品質の製品や継続的改善に繋がるものであり、非常に有意義なものになります。

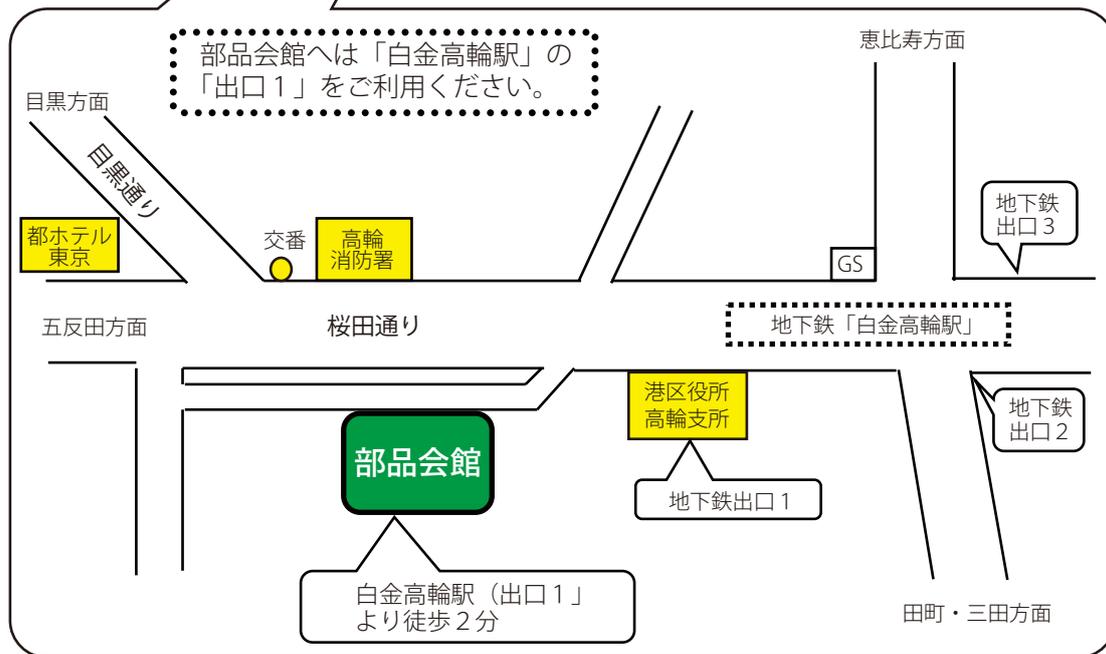
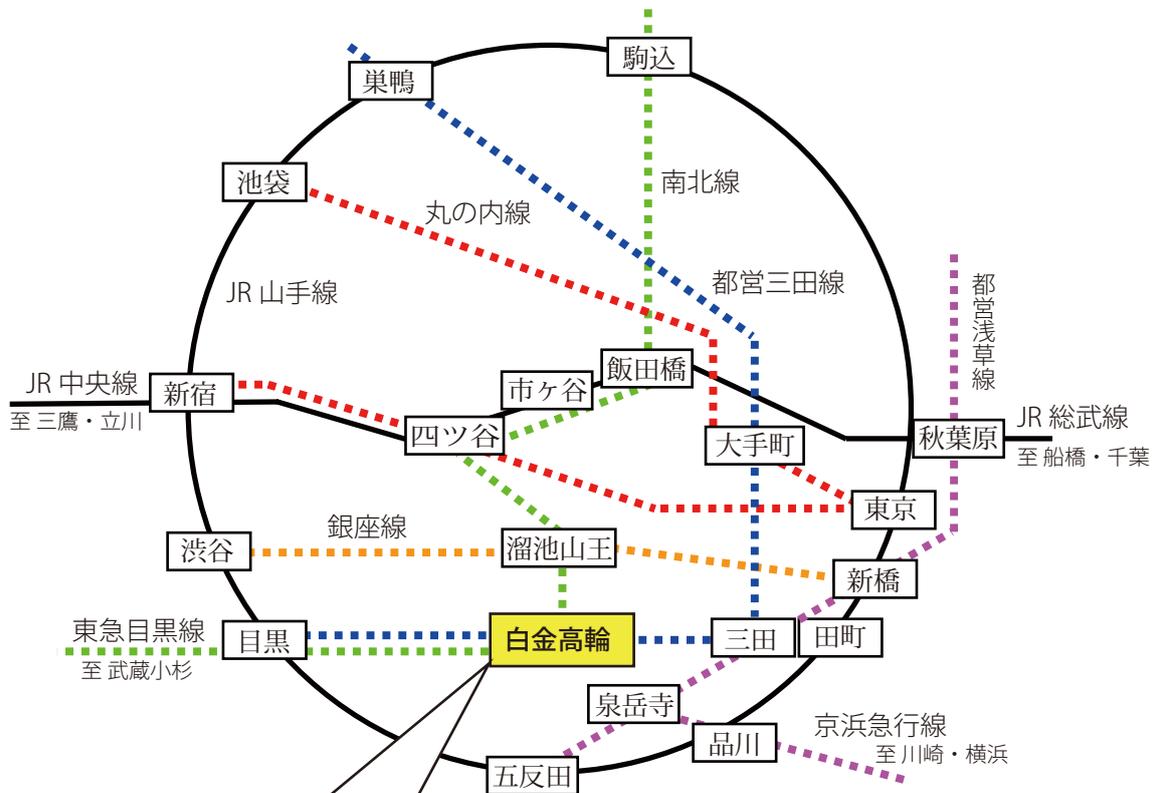
## IATF16949 : 2016 改定版の背景と主な変更点

自動車産業における要求事項は常に変更されており、現状の規則に反映した下記要件が考慮された新しい自動車品質規格が必要になった。

- ① 製品安全に係る要求事項が整理された
- ② リスク分析に係る要求事項が追加された
- ③ 緊急事態対応計画の要求事項が具体的になった
- ④ 内部監査員の力量について具体的な要求事項が定められた
- ⑤ 二者監査に係る要求事項が追加になった
- ⑥ 関連部品やその部品に付随するプロセスの必要要件を明確にする
- ⑦ 規則変更柔軟に対応できるよう、製品要求事項を明確に把握できる体制づくり
- ⑧ 自動車に既に組み込まれたソフトウェア製品の要求事項の確立
- ⑨ 供給者選定プロセスが要求され、より具体的な供給者の管理が要求されている
- ⑩ 供給者の QMS 開発について二者監査による手段が強化されている
- ⑪ サプライヤー向け管理とサプライヤーとの開発要件の明確化

- ⑫ TPM システムの要求事項が追加になった
- ⑬ 変更管理が強化された
- ⑭ レイアウト検査が追加要求事項になっている
- ⑮ 手直し製品の管理、修理製品の管理が追加要求事項になった
- ⑯ マネジメントレビューへのインプット情報が追加になった
- ⑰ 「問題解決」の要求事項が具体的に示されている
- ⑱ 良品返品（不良個所が見つからなかった返品製品）の対応や、自動車産業ガイダンスを考慮した保証マネジメントシステムの見直し／ワランティ補償管理システム要求事項の追加
- ⑲ 企業の社会的責任の追加事項
- ⑳ 共通要求事項として ISO9001：2015 が全面的に採用されている

(株) 自動車部品会館ご案内図  
 〒108-0074 東京都港区高輪 1-16-15  
 電話 03-5422-6351



# FAX 03-3447-5372

自動車部品会館 飯島宛

(iijima@japia.or.jp)

2019年5月23日(木)～24日(金)

IATF16949：2016 内部監査員養成研修/基本2日コース申込書

---

申込日：                      年      月      日

---

会社名：

---

〒  
送り先住所：

---

TEL：

---

FAX：

---

メールアドレス

---

所属・役職：

---

氏名：

---

よみ：

---

備考：

---

※申込書受付票を送りますので必ずFAX番号、メールアドレスをご記入ください。